

EA993CM-20A [エア式]低床油圧ジャッキ 取扱説明書

この度は弊社取扱製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読み頂き、内容を十分に理解した上で、正しく安全にご使用ください。取扱説明書はいつでも閲覧できるよう、安全で乾燥した場所に保管してください。

当製品は、トラック、バス、トラクター等の車両のタイヤメンテナンス時のジャッキアップを目的としています。用途外の使用はしないでください。

ジャッキの操作を誤ると大変危険です。本取扱説明書に記載されている警告、注意書きは、起こりうる全ての条件や状況をカバーすることはできません。過信せず、作業者自身が常に注意を払い、作業を行うことが重要であることを作業者自身が認識しておく必要があります。

■安全上の注意 誤った取扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を下記に区分をしています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをした場合、死亡や重傷を負うおそれがあります。	
🚫	してはいけない内容です。	⚠ 実行しなければならない内容です。

⚠ 警告	🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 能力(20t)を超える作業は行わない。 操作する時はだぶついた服装、ネクタイ、時計、アクセサリなどの装身具は着用しない。(長い髪は束ねるようにすること) 疲れている時やアルコール、薬を飲んでいる時はジャッキ操作をしない。 操作に不慣れな人は使用しない、また操作をさせない。 ジャッキアップ中や、ジャッキのみで支えられた状態では、荷の下には入らない。 ジャッキを雨や悪天候にさらさない。 油圧ジャッキオイルに、ブレーキ液などの異なる種類のオイルを混ぜない。
	⚠ 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 安全、性能を保つために、操作を熟知した人が使用し、常に清潔にすること。 子供や関係者以外の人が作業エリアに入らないようにすること。 安全ゴーグルを着用し作業すること。 安定してバランスがとれる状態で、滑り止めのある靴をはいて作業すること。 平坦で硬く滑りにくい場所で使用すること。 作業エリアは清潔で無関係なものを置かないようにして、明るい場所にする。 使用する際はジャッキを点検し、異常がないことを確認すること。異常がある場合は使用を中止すること。 ジャッキアップ時は、車両の全てのタイヤを動かない様にする。 ジャッキアップ時は、荷を動かさないこと。(荷が静止している状態でのみジャッキ操作する) 操作中は常に荷が安定していることを確認すること。 ジャッキアップ後は、ジャッキで保持せず、ジャッキスタンドを使用すること。 ジャッキダウン時は、荷の下に障害物がないことを確認し、安全な場所に移動すること。
	🚫 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> 分解、改造はしないでください。破損、ケガの原因になります。

■機能

- 最低値178mmの低床ジャッキ
- 安定性に優れた30mmの極厚ベース
- サビに強いクロムめっきラム
- 補助ねじ付きで正確な高さ調整が可能
- エアと手動の2way操作



最低値時

■仕様

能力	最低値	油圧(ラム)伸長	補助ねじ伸長	最高値	使用圧力	ベースサイズ(ベッド寸法)	重量
20t	178mm	81mm	60mm	319mm	0.75~0.86MPa	209x146mm	15kg

受金サイズ	エアホース長	ハンドル長	ねじサイズ
—	1.2m	—	1/4" NPT

■各部名称



■操作方法



・使用する前に、安全上の注意の警告を読み、理解してから使用してください。

<ご使用前に>

- ・エアーツールオイルをエアーコントロールバルブの吸入口に注ぎ(目安小さじ1杯分)、コンプレッサー側のエアーホースに接続後、レバーを押して約3分ほど潤滑させます。

<ジャッキを上げる>

- ①リリースバルブがしっかりと閉じていることを確認してください。
(ハンドルの凹み部を、リリースバルブの凸部に合せ、時計回りに回すと閉じます。)
- ②ジャッキアップする車両のパーキングブレーキをかける、タイヤストッパーを置く等、車両が動かない様にしてください。
- ③受金をジャッキアップポイントにあてます。必要に応じて補助ねじで調整します。
(ジャッキアップポイントは各車両の取扱説明書を参照してください。)
- ④コンプレッサー側のエアーホースに接続し、エアーコントロールバルブのレバーを押すとラムが上昇します。
- ⑤希望の高さまで上げた後、レバーを元の位置に戻し、対象物を支えるのに十分な能力のジャッキスタンドを使用して支えてください。
- ⑥エアーコンプレッサーを使用しない場合は、手動のハンドル操作でジャッキアップします。ハンドル(径の大きい方)をハンドル挿入口に差し込み、ハンドルを上下に動かすとラムが上昇します。希望の高さにした後、ジャッキスタンドで保持してください。



ハンドル装着時

<ジャッキを下げる>

- ・対象物を十分に上げてジャッキスタンドを慎重に取り外します。ハンドルの凹み部をリリースバルブの凸部に合せ、反時計回りに回すと下降します。補助ねじを使用している場合は、対象物が床に接地し、ジャッキに負荷がなくなった後に、時計回りに回して下げます。その後ジャッキを取り外してください。
- ・荷重のかかっていない場合は、自重のみでは降下しません。受金を手や足で押さえて下げてください。



・対象物を下げる前に、工具や人がいないことを確認してください。
・対象物を下げる時に、リリースバルブをすばやく開くと急降下し大変危険です。必ずゆっくりと少しずつ開くようにしてください。

■メンテナンス、保管

- ・ジャッキの外側を乾いた清潔な柔らかい布で拭き、汚れを拭き取ります。補助ねじや可動部には必要に応じて定期的に潤滑油を注油してください。
- ・使用しない場合は、ラムと補助ねじを完全に下げた状態で、乾燥した場所に保管してください。
- ・ジャッキの能力が低下したり、ジャッキが機能しないなどの動作不良の場合、エアーを抜いてください。

A：手動操作の動作が悪い場合

ハンドルの凹み部を、リリースバルブの凸部に合せ、反時計回りに1回転半回します。給油キャップを引っ張って取り外し、ハンドルを挿入して10～15回上下して給油キャップを元に戻します。



B：エアー操作の動作が悪い場合

ハンドルの凹み部を、リリースバルブの凸部に合せ、反時計回りに1回転半回します。給油キャップを手で引っ張って取り外し、エアーコントロールバルブのレバーを押し、1分間作動させてから給油キャップを元に戻します。

- ・油圧オイルの確認
ジャッキを直立させ、ラムを完全に下げた後から給油キャップを取り外します。油量が不十分な場合は、油圧オイルを給油キャップの穴の下側まで補充してください。エアーを抜き、給油キャップを元に戻してください。
- ・性能を維持し、長くご使用頂く為に、年に1回は油圧オイルを全量交換してください。ラムを完全に下げた状態で、給油キャップを取り外し、ジャッキを横向きに倒します。容器に油圧オイルを排出して、油圧オイルを補充後、給油キャップを元に戻してください。排出した油圧オイルは地域の規則に従って廃棄してください。
- ・定期的に点検を行ってください。

■トラブルシューティング

症状	原因	対処
・ジャッキが上がらない	・リリースバルブが開いている ・ジャッキの能力を超えている ・エアーの供給不足 ・内部にエアーが混入	・リリースバルブを閉じる ・能力の高いジャッキを使用する ・エアー圧力を調整する ・エアー抜きをする※
・高さを維持できない	・リリースバルブが開いている ・ジャッキの能力を超えている ・油圧部の故障	・リリースバルブを閉じる ・能力の高いジャッキを使用する ・使用を中止してください
・ジャッキが下がらない	・油圧オイルの入れすぎ ・可動部の不良	・油圧オイルを抜く ・可動部の清掃と注油
・ジャッキアップ能力の低下	・油圧オイルが少ない ・内部にエアーが混入	・油圧オイルを適量まで給油する ・エアー抜きをする※
・最大値まで上がらない	・油圧オイル不足	・油圧オイルを適量まで給油する

※エアー抜き…メンテナンスの項目を参照してください。